



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 06-6203-1407
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	269,236	1.5	32,703	46.5	32,732	49.0	16,867	64.2
24年3月期第3四半期	265,203	△5.6	22,325	△17.5	21,961	△16.2	10,273	△30.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 15,677百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △833百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	42.45	—
24年3月期第3四半期	25.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	573,848	327,752	57.1
24年3月期	559,410	319,227	57.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 327,752百万円 24年3月期 319,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年3月期	—	9.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	348,000	△0.7	28,000	37.2	27,000	43.1	13,500	56.4	33.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行なっております。詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	397,900,154株	24年3月期	397,900,154株
25年3月期3Q	589,559株	24年3月期	588,699株
25年3月期3Q	397,310,981株	24年3月期3Q	397,312,225株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成25年1月31日(木)に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界においては、画期的新薬の創出の停滞や新薬開発コストの増大に加え、承認審査の厳格化や医療費抑制への取組みが世界的に進行しており、一方、国内においても、後発医薬品の使用促進策や薬価改定が実施されるなど、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、国内では、高血圧症治療剤「アバプロ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」をはじめとする戦略品や、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」等の新製品の販売拡大に引き続き注力いたしました。また、昨年12月に高血圧症治療剤「アイミクス」を新発売し、早期の市場浸透に向け学術情報活動を開始いたしました。

海外では、米国子会社のサノビオン・ファーマシューティカルズ・インクにおいて、非定型抗精神病薬「ラツダ」の米国内での一層の売上拡大に全力で取り組むとともに、昨年9月にはカナダにおいても「ラツダ」を新発売いたしました。また、がん領域の開発パイプラインの強化と研究開発体制の拡充を目的として、ボストン・バイオメディカル・インク（以下「BBI社」）を昨年4月に、呼吸器領域におけるパイプラインの獲得を目的として、エレベーション・ファーマシューティカルズ・インク（現サノビオン・レスピラトリー・ディベロップメント・インク、以下「SRD社」）を昨年9月に、それぞれ買収し、完全子会社化いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,692億36百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。また、経費支出が前年同四半期を大きく下回ったため、営業利益は327億3百万円（前年同四半期比46.5%増）、経常利益は327億32百万円（前年同四半期比49.0%増）となりました。四半期純利益は、日本および北米において組織・業務改革を進めたことによる事業構造改善費用等を特別損失に計上した結果、168億67百万円（前年同四半期比64.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

新製品の「メトグルコ」が大きく伸長したのをはじめ、戦略品の「アバプロ」、「ロナセン」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」等も増加しました。さらに昨年12月に新発売した「アイミクス」の売上も加わりましたが、薬価改定や既存品の販売減少の影響等により、セグメントの売上高は1,369億57百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。利益面では、薬価改定による売上総利益の減少が影響し、セグメント利益は522億49百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

②北米

「ラツダ」が順調に売上を伸ばしたほか、ライセンスにかかるマイルストーン収入等があったため、独占期間の満了を迎えた短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」の販売減少や円高の影響等をカバーし、セグメントの売上高は880億52百万円（前年同四半期比10.4%増）となりました。費用については、人件費の削減等により販売費・一般管理費が減少したため、セグメント利益は126億51百万円（前年同四半期は1億91百万円の損失）となりました。

③中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」（現地販売名「美平」）は堅調に推移し、セグメントの売上高は58億77百万円（前年同四半期比23.1%増）、セグメント利益は19億15百万円（前年同四半期比109.0%増）となりました。

④海外その他

メロペンの輸出が減少した影響が大きく、セグメントの売上高は75億79百万円（前年同四半期比32.9%減）、セグメント利益は34億47百万円（前年同四半期比35.2%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は307億69百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は23億71百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産については、BBI社およびSRD社の買収に伴い、有価証券(譲渡性預金)が減少し、仕掛研究開発等の無形固定資産が大きく増加しました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ144億38百万円増加し、5,738億48百万円となりました。

負債については、未払金や長期借入金は減少しましたが、買収に関連した長期繰延税金負債やその他の固定負債の増加により、前連結会計年度末に比べ59億13百万円増加し、2,460億96百万円となりました。

純資産については、四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ85億25百万円増加し、3,277億52百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、業績に変動を与える要因は特に想定されませんので、平成24年10月31日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

従来、当社および国内連結子会社は建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、今後はグローバル製品の海外売上高が拡大していくことが見込まれることから、重要性が高まる海外連結子会社が採用する減価償却方法との整合をはかるため、第1四半期連結会計期間より、当社および国内連結子会社について、有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することといたしました。

この減価償却方法の変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は、1,229百万円減少し、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は811百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,953	19,460
受取手形及び売掛金	101,955	98,790
有価証券	99,118	85,473
商品及び製品	42,480	46,430
仕掛品	2,591	3,642
原材料及び貯蔵品	13,045	12,733
繰延税金資産	31,782	29,394
短期貸付金	25,000	25,000
その他	5,433	4,463
貸倒引当金	△110	△106
流動資産合計	334,250	325,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	91,115	91,723
減価償却累計額及び減損損失累計額	△50,753	△52,109
建物及び構築物（純額）	40,361	39,614
機械装置及び運搬具	76,854	76,865
減価償却累計額及び減損損失累計額	△66,997	△67,537
機械装置及び運搬具（純額）	9,856	9,328
土地	10,248	10,242
建設仮勘定	2,121	4,607
その他	28,104	28,258
減価償却累計額及び減損損失累計額	△23,994	△24,197
その他（純額）	4,109	4,061
有形固定資産合計	66,697	67,854
無形固定資産		
のれん	64,311	64,920
特許権	32,524	18,698
仕掛研究開発	5,659	45,405
その他	5,211	4,687
無形固定資産合計	107,706	133,711
投資その他の資産		
投資有価証券	29,855	30,422
繰延税金資産	11,624	7,403
その他	9,331	9,225
貸倒引当金	△55	△52
投資その他の資産合計	50,755	46,999
固定資産合計	225,159	248,565
資産合計	559,410	573,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,860	15,327
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	5,437	5,795
賞与引当金	7,592	3,924
返品調整引当金	3,657	5,028
売上割戻引当金	18,527	18,521
未払金	30,009	21,790
その他	13,881	18,759
流動負債合計	105,965	99,146
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	48,000	40,500
繰延税金負債	330	11,082
退職給付引当金	10,790	11,159
その他	5,097	14,207
固定負債合計	134,217	146,949
負債合計	240,183	246,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	305,664	315,379
自己株式	△649	△650
株主資本合計	343,275	352,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,016	8,038
為替換算調整勘定	△32,064	△33,275
その他の包括利益累計額合計	△24,047	△25,237
純資産合計	319,227	327,752
負債純資産合計	559,410	573,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	265,203	269,236
売上原価	73,967	76,382
売上総利益	191,236	192,854
返品調整引当金戻入額	—	7
返品調整引当金繰入額	13	—
差引売上総利益	191,222	192,861
販売費及び一般管理費		
給料	27,421	26,270
賞与引当金繰入額	2,670	2,703
研究開発費	40,706	39,948
その他	98,098	91,235
販売費及び一般管理費合計	168,897	160,158
営業利益	22,325	32,703
営業外収益		
受取利息	271	250
受取配当金	674	741
その他	1,085	1,281
営業外収益合計	2,031	2,273
営業外費用		
支払利息	863	816
寄付金	820	1,094
その他	710	333
営業外費用合計	2,395	2,244
経常利益	21,961	32,732
特別利益		
固定資産売却益	1,240	—
特別利益合計	1,240	—
特別損失		
事業構造改善費用	1,236	3,941
減損損失	2,360	414
特別損失合計	3,597	4,356
税金等調整前四半期純利益	19,604	28,376
法人税等	9,331	11,508
少数株主損益調整前四半期純利益	10,273	16,867
四半期純利益	10,273	16,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,273	16,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	292	22
為替換算調整勘定	△11,398	△1,211
その他の包括利益合計	△11,106	△1,189
四半期包括利益	△833	15,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△833	15,677
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	139,133	79,751	4,775	11,289	234,949	30,253	265,203
セグメント間の内部 売上高又は振替高	164	—	—	—	164	63	228
計	139,298	79,751	4,775	11,289	235,114	30,317	265,431
セグメント利益又は損失(△)	54,476	△191	916	5,322	60,523	2,479	63,003

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	60,523
「その他」の区分の利益	2,479
研究開発費(注)	△40,706
セグメント間取引消去	28
四半期連結損益計算書の営業利益	22,325

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	136,957	88,052	5,877	7,579	238,467	30,769	269,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	211	—	—	—	211	68	280
計	137,169	88,052	5,877	7,579	238,678	30,838	269,517
セグメント利益	52,249	12,651	1,915	3,447	70,263	2,371	72,635

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	70,263
「その他」の区分の利益	2,371
研究開発費(注)	△39,948
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	32,703

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、414百万円を計上しております。

また、米国子会社での組織・業務改革を進めたことに伴い、将来の収益性がないと判断した有形固定資産等について168百万円を計上し、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、SRD社を買収し、完全子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は3,213百万円であります。

なお、取得原価の資産配分が完了していないため、発生したのれんは暫定的な金額であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。